



# せい しん つう しん 聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第 11 号 2022 年 1 月 31 日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森 2 条 16 丁目 10 番 1 号  
URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp/>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)  
FAX 011-612-0980

卒業を迎える高校 3 年生と保護者の皆様にお祝いを申し上げます。新生活に臨むにあたって、必要な準備をしっかりと、それぞれの場所で輝くことができますよう、教職員一同お祈りしております。

## 2月の予定



|        | 行 事  | お弁当 |
|--------|--|-----|
| 1 (火)  | オンライン授業(～2/19)<br>高3 祈りの日オンライン<br>母の会聖書サークル(10:30～12:00、Sr.田口)         |     |
| 2 (水)  | 高校卒業研究代表者発表会オンライン(14:00～)<br>課題研究ミーティング⑧                               |     |
| 3 (木)  | 高3送別会オンライン(5校時)  |     |
| 4 (金)  | 高3 最終登校日   |     |
| 5 (土)  | 高校卒業式(10:00～、ガーデンパレス札幌)<br>中1～高2 家庭学習(オンライン授業なし)                       |     |
| 6 (日)  |  |     |
| 7 (月)  | Sacred Heart Youth Peace Messengersオンライン(16:10～)                       |     |
| 8 (火)  | NY国連研修オンライン(～2/10)   |     |
| 9 (水)  | 高1GI 特別プログラム   |     |
| 10 (木) |  |     |
| 11 (金) | 建国記念の日<br>札幌市中体連スキー新人戦大会   |     |
| 12 (土) |  |     |
| 13 (日) |  |     |
| 14 (月) | (午後 オンライン授業なし)   |     |
| 15 (火) | 高校一般入試A日程<br>生徒家庭学習(オンライン授業なし)   |     |
| 16 (水) |  |     |
| 17 (木) |  |     |
| 18 (金) |  |     |
| 19 (土) |  |     |
| 20 (日) |  |     |
| 21 (月) | 通常授業再開予定<br>中3体育 クロスカントリー(1～2校時)<br>高2 見学旅行(～2/24)                     | 要   |
| 22 (火) | 中1体育 クロスカントリー(1～2校時)<br>中1技家 プログラミング出前講座(6～7校時)<br>中2 第2回個別面談①(16:00～) | 要   |
| 23 (水) | 天皇誕生日  |     |
| 24 (木) | 中2 第2回個別面談②(16:00～)<br>高1 SADE(昼～2/26)                                 | 要   |
| 25 (金) | 中1体育 クロスカントリー(6～7校時)<br>中2 第2回個別面談③(16:00～)<br>高2 代休                   | 要   |
| 26 (土) | 中2 第2回個別面談④(13:00～)<br>高2 家庭学習   | 要   |
| 27 (日) |  |     |
| 28 (月) | 高1GI 講演会(3～4校時)  | 要   |

※ 行事予定は暫定のもので、  
変更がある場合には一斉メールでお知らせいたします。

## Congratulations!!

- ◎ 令和 3 年度明るい選挙啓発作品展  
札幌市中央区選挙管理委員会委員長賞  
中 2-1 高橋 菜乃葉さん
- ◎ スイーツ甲子園 高校生スイーツレシピチャレンジ  
ーツ星レシピ賞 高 3-G 齊藤 りこさん
- ◎ 第 60 回全国高等学校生徒英作文コンテスト  
2・3 年の部  
優秀賞 高 2-G 植木 望結さん  
入選 高 2-G 福本 あめりさん  
入選 高 2-S 目良 茉莉香さん  
1 年の部  
入選 高 1-S 山本 桃香さん
- ◎ 第 23 回高校生小論文コンクール  
奨励賞 高 3-S 加世田 紗衣さん
- ◎ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2021  
国際協力特別賞 高 2-G 福本 あめりさん  
※ 札幌聖心女子学院高等学校として学校賞も受賞しました！
- ◎ 2022 年ぬかびら源泉郷ユース SL/GS 大会  
女子ジャイアントスラローム (GSL)  
総合 8 位 中 2-1 石丸 り子さん  
(全国大会出場権獲得！)
- ◎ 第 54 回北海道中学校スキー大会アルペン競技  
女子スラローム (SL)  
総合 8 位 中 2-1 石丸 り子さん  
(全国大会出場権獲得！)  
総合 40 位 中 1-1 内海 玲依羅さん
- ◎ English Camp in 北星 Online 2021  
英語プレゼンテーション(動画)コンテスト  
Hokusei Prize(Overall Best)  
チーム「5 stars」 高 1-G 北村 和佳さん  
高 1-G 齊藤 美慶さん  
高 1-G 原田 安珠さん  
高 1-G 平塚 実杜紀さん  
高 1-G 村上 心さん
- ◎ 第 4 回持続可能な世界・北海道高校生コンテスト  
総合探究部門  
最優秀賞「SDGs for 歯っぴー」  
高 3-S 遠藤 彩奈さん  
高 3-S 菅田 真千さん  
優秀賞「Ocean For Tomorrow」  
高 3-G 俞 敬華さん  
高 3-S 三田村 理沙さん  
優秀賞「全ての人が暮らしやすいまちに」  
高 3-S 武部 彩美さん  
(特別賞「コープさっぽろ未来につながる賞」も受賞！)  
連携部門  
優秀賞「北海道の国連大使 5 人による SDGs 啓発活動  
高校生×SDGs 1DAY セミナー」  
高 2-G 福本 あめりさん  
高 1-G 村上 心さん  
ほか他校生徒 3 名  
特別賞  
SDGs Thinkers 賞「Save the 性別新世代」  
高 3-G 小刀根 夏葵さん  
高 3-S 堀内 瑛美香さん  
高 3-S 村松 名純さん

## 54 回生の聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16～18 節

そのとき、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く。 イザヤ書 35 章 5 節

自分のように人を愛しなさい。

マタイによる福音書 22 章 39 節

神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、そこから抜け出す道も備えてくださいます。

コリントの信徒への手紙一 第 10 章 13 節

2021 年度という、私たちにとって特別な年の最高学年として、皆を導いた頼もしい 54 回生がいよいよ卒業します。コロナ禍のため、卒業直前の 1 週間余りがオンライン授業となり、下級生とのお別れも十分果たせない状況にもかかわらず、見事に事態を受け止める姿に改めて感心しました。

寄宿舎の夕の祈りで、自分の好きな聖句を下級生にメッセージとして贈ってくれた 4 人の言葉を紹介したいと思います。

「私が札幌聖心で身につけたことは、静寂と祈ることの大切さです。聖堂の静けさと年を重ねるほどに感じる聖堂特有の空気は、私たちをリラックスさせ、1 週間の出来事を考えさせてくれます。静かな環境で祈ることは、自分たちには見えていない周りの困っている人たちに気づくことや、振り返りと反省ができる良い時間であると感じることができました。

『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。』（テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16～18 節）という聖句を読むと、自分がどれだけ恵まれた環境にいるのか、見つめなおすことができます。卒業しても、世界の問題や難民の方々、SDGs に取り組むことを忘れずに、今の世界の状況を積極的に知り、行動していく努力をしていこうと思っています。祈りと知識を深めることのできた学校と寄宿舎生活に心から感謝いたします。」

「私は、イザヤ書の 35 章 5 節『そのとき、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く』という聖書の箇所が好きです。この箇所は奇跡について語っているようですが、普通に見える目、聞こえる耳をもっている、本当の意味で、見て見えず、聞いて聞こえないことは多くあります。見たいものしか見ず、聞きたいことしか聞かないことがとても多いのです。日本では、約半分の人しか SDGs について知らないといわれます。一丸となって世界の問題に取り組もうとする動きが半分の人には見えていないのです。私たち自身も必ず何かしらの偏見や固定観念を持ち、多面的な考え方ができなくなってしまいます。これは目隠しをし、耳栓をしているのと同じ状態と言えるでしょう。札幌聖心には、(国内外の研修や奉仕活動、国内各地、海外からの生徒や留学生など) たくさんの人々と出会い、触れ合い、対話することで、精神的な目隠しや耳栓を取り払うチャンスが、たくさんあります。皆さんもどうぞ、このチャンスを生かして多面的に思考する力と行動する力を身につけて、将来たくさんの人を笑顔にしてください。」

「私は『自分のように人を愛しなさい』（マタイによる福音書 22 章 39 節）という言葉が心に響きます。人と人のかかわりが、私たちの世界をつくっていくと思います。私は（医学を学ぶので）将来どんな人でも受け入れ、そのために尽くすことができるように、この言葉を大切に生きたいと思います。」



最後の一人は様々な状況をすべて受け止めて、「神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに、そこから抜け出す道も備えてくださいます。」(コリントの信徒への手紙一 第 10 章 13 節) と信頼のうちにメッセージを結びました。祭壇のろうそくの揺らぎが、54 回生の旅立ちを祝福しているかのようなようでした。皆さん、卒業おめでとうございます。そしてありがとう！ [チャプレン Sr.田口保子]